

## 第1回 事業者向け 副業セミナー 開催レポート

○日時 令和2年9月29日（火） 13:30~15:00

○会場 田村市テレワークセンター テラス石森 コワーキングスペース

田村市にあるテレワークセンター テラス石森において、「採用にかわる副業人材の活用について学ぶ」と題してセミナーを開催しました。

外部人材を活用したいが正規採用をするにはコストがかかる、専門スキルを持つ人材を起用したいが適切な人材からの応募がないなど、経営者が抱える課題を副業人材でどのように対応できるかを学ぶ内容として実施しました。



事務局から制度説明をした後、県が今年5月に立ち上げた副業人材マッチングサイトの利用者体験談として、県内事業所の経営者と副業人材の方へオンライン形式でインタビューを行いました。

最初に話をお聞きしたのは、郡山市の株式会社遠藤自動車商会の遠藤社長と副業人材として関わった市川航介さんです。

遠藤社長は、マッチングサイトを利用したきっかけとして、「会社の経営規模を拡大していくにあたって個人事業主の自分一人では限界を感じていた。そこで、スキルのあるプロ人材がサポートしてくれたらとの思いで副業人材を募集しました」とのこと。一方で、実際に遠藤自動車商会の人材募集案件にエントリーした市川さんは、「サイトを拝見して、面白そうなプロジェクトだなあと思って参加してみました」と、最初から福島で副業したかったというよりは、単純に遠藤社長の思いに興味があったことが理由だったようです。

実際に副業を受け入れてみてどうだったかお伺いすると、遠藤社長は「我が社のことながら、客観的に分析ができるようになって、経営の「見える化」が図られたことで業務管理が楽になりました」との感想を話してくれました。

副業が終わった今でも遠藤社長と市川さんのやり取りは続いているようで、市川さんとしても「これからも遠藤社長のやりたいことを実現したいと考えています」とのことで、副業をきっかけとした継続的な関わりを垣間見ることができました。



続けて、会場であるテラス石森を運営する一般社団法人 Switch の久保田代表理事からもコメントをいただきました。

久保田さんも県のマッチングサイトで副業人材を募集しており、「法人を立ち上げて間もなかったのに、課題解決をするのに相談できる人が身近にいなかった」と、社団法人の代表としての悩みがあったようです。どんな人材を求めているのかお伺いすると、「労務関係の人と情報発信のイロハを教えてくれる人です。実際に副業人材の方とオンライン会議などでやり取りしてみて思ったことは、かまえてしまうとなかなか進まないの、まずは『どうしたらいいですか？』と聞いてみるのが早いなと思いました。副業はコスト的な負担も少なく、ある意味お試しとしても利用しやすいと思います」とのこと。Switch で募集したプロジェクトでマッチングされた副業人材については、「経歴を見ただけでびっくりするほどの実績がある優秀な方だったので、最初、副業として成り立つのか不安もありましたが、やってみると視線をしっかりこちら側に合わせてくれて、大変やりやすかった」と笑顔で話してくれました。



最後に、オンライン講話で株式会社リクルートキャリアの狩野美鈴さんから、「はじめての副業人材活用～成功のコツ～」をテーマにお話いただきました。

狩野さんからは「東京以外では、人材の確保が難しくなっています。これからますます副業人材を採用する会社が増えていく」と、コロナ禍における社会状況も踏まえて、今後当たり前に副業を活用する時代が来ると、データと資料を使いながら説明してくれました。特に はじめて副業人材を活用する場合は、「始まってからトラブルにならないように、副業人材と業務委託契約を結ぶまでのお互いのすり合わせがとても重要」とのことで、お互いの話し合いで「お願いする業務内容」「納品物」「納期」「会議・連絡方法」などは事前に決めておくことが大切だと貴重なアドバイスをいただきました。



講話終了後の質疑応答においても、「複業と兼業の違いは？」「副業を導入するにあたっての諸々の課題は？」などの質問があり、ご参加いただいた皆さんの関心の高さがうかがえました。

以上